

分野	基礎分野	授業科目名	論理学	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験なし)
<b>【学習目標】</b> ○ 看護職においては、関係書類の読解力、患者や医療スタッフとの高度なコミュニケーション能力が必要とされる。この講義では、医療に関する様々な資料に触れ、それを読み取り、論点を把握し、要約し、人に伝える能力を磨くことを目標とする						<b>【評価方法】</b>  筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法		備 考
1	90	新聞の構成と読み方		資料の理解 意見交換		
2	90	新聞を読む 文の構成 起承転結		資料の理解 意見交換		
3	90	「現代の死」①		資料の理解 意見交換		
4	90	エッセイまとめ 「現代の死」②		資料の理解 意見交換		
5	90	エッセイまとめ 「現代の死」③		資料の理解 意見交換		
6	90	「聞く力」まとめ 現代の死、病院死の問題点		資料の理解 意見交換		
7	90	「現代の死」④		資料の理解 意見交換		
8	90	病院死の問題点		資料の理解 意見交換		
9	90	起承転結の理解		資料の理解 意見交換		
10	90	「高齢者の拘束」まとめ 起承転結の理解、病院の問題点		資料の理解 意見交換		
11	90	病院死の問題点		資料の理解 意見交換		
12	90	病院死の問題点 リスボン宣言		資料の理解 意見交換		
13	90	リスボン宣言 エッセイを読む		資料の理解 意見交換		
14	90	リスボン宣言 エッセイを読む		資料の理解 意見交換		
15	90	エッセイを読む テスト		資料の理解 意見交換		
16						
<b>【テキスト・参考書・使用教材】</b> 適宜資料を配布する						

分野	基礎分野	授業科目名	情報科学 I	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	前期	1	15	(実務経験なし)
<b>【学習目標】</b> ○ 疾病、健康に関する情報の収集、集計、解析の基本的な理論と得られた情報を視覚的に提示する方法を習得する						<b>【評価方法】</b>  筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	社会と情報（著作物）		講義		
2	90	社会と情報（著作権法）		演習		
3	90	情報の科学（プログラミング）		演習		
4	90	情報の科学（プログラミング）		演習		
5	90	データの処理（基本）		演習		
6	90	データの処理（文字列操作）		演習		
7	90	データの処理（検索）		演習		
8	90	全体まとめ		演習		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
<b>【テキスト・参考書・使用教材】</b> 適宜資料を配布する						

分野	基礎分野	授業科目名	情報科学Ⅱ	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	前期～後期	1	15	(実務経験なし)
<b>【学習目標】</b> ○ 情報の意味を理解し、主体的に情報選択と看護活動に活用できるための基礎的知識を身につける						<b>【評価方法】</b>  筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	基本統計量 (平均～分散)		講義		
2	90	グラフと散布図の作成と読み取り		演習		
3	90	相関と因果の違いによるデータの解釈		演習		
4	90	1回目総まとめ課題		演習		
5	90	平均, 割合, 回帰式の区域指定		演習		
6	90	平均値, 度数の差の検定		演習		
7	90	スライドデザイン		演習		
8	90	2回目総まとめ課題		演習		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
<b>【テキスト・参考書・使用教材】</b> 適宜資料を配布する						

分野	基礎分野	授業科目名	社会学	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	前期～後期	1	30	(実務経験なし)
<b>【学習目標】</b> ○ まずは人前で、自分の意見を言えるようになること ○ 人間の生活の場として社会の機能や現在の家族のありかたなどを 知ること ○ 社会環境と人間との相互作用を理解できるようになること						<b>【評価方法】</b>  筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	オリエンテーション		講義		
2	90	社会学とは何か		講義		
3	90	妙好人 Ch. 7		講義		
4	90	ロシア・ウクライナ問題 Ch. 8-10		講義		
5	90	意識の階層性 Ch. 2		講義		
6	90	感念・感覚・理想 Ch. 3		講義		
7	90	自己の深みへ Ch. 4		講義		
8	90	自己愛から利他愛へ①		講義		
9	90	自己愛から利他愛へ②		講義		
10	90	利他主義社会の現代的課題①		講義		
11	90	利他主義社会の現代的課題②		講義		
12	90	課題作文の書き方 (宿題・作文)		講義		
13	90	プレゼンシートの作り方 (宿題提出)		講義		
14	90	発表①		講義		
15	90	発表②		講義		
16						
<b>【テキスト・参考書・使用教材】</b> 吉野浩司著『意識と存在の社会学』（2009年、昭和堂刊）を用いる。 他の参考文献については、適宜、授業中に紹介する。						

分野	基礎分野	授業科目名	文化人類学	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	前期	1	15	(実務経験なし)
<b>【学習目標】</b> ○ 文化の違いによって異なる考えをもつ人々がいることを、宗教、生活習慣儀礼などの文化を通して理解する ○ 異文化による人間の行動や考えの違いを知り、国際的視野を広げる						<b>【評価方法】</b>  筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	イントロダクション (文化人類学と看護)		講義		
2	90	異文化理解と文化相対主義		講義		
3	90	ヤノマミと異文化理解 (1)		講義		
4	90	ヤノマミと異文化理解 (2)		講義		
5	90	異文化理解とコミュニケーション		講義		
6	90	医療と文化人類学		講義		
7	90	病気と医療の歴史		講義		
8	90	統合医療と異文化理解		講義		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
<b>【テキスト・参考書・使用教材】</b> 適宜資料を配布する						

分野	基礎分野	授業科目名	心理学	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験なし)
【学習目標】 ○ ヒトの情報処理に関する基本的知識とヒトの行動変容の原理を理解することを目標とする					【評価方法】  筆記試験 等	
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	感覚		講義		
2	90	感覚、知覚		講義		
3	90	知覚		講義		
4	90	知覚		講義		
5	90	記憶		講義		
6	90	記憶		講義		
7	90	記憶		講義		
8	90	学習		講義		
9	90	学習		講義		
10	90	学習		講義		
11	90	学習		講義		
12	90	学習		講義		
13	90	パーソンセンタード・アプローチ		講義		
14	90	ストレス、学習性無気力 自己効力感		講義		
15	90	まとめ テスト		講義・テスト		
16						
【テキスト・参考書・使用教材】 長田久雄 看護学生のための心理学 (医学書院)						

分野	基礎分野	授業科目名	人間関係論 I	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	後期	1	15	(実務経験なし)
<b>【学習目標】</b> ○ 人間関係の基礎理論を学び、対人関係の具体的方法として、接近法、話し方、傾聴などの技法を身につける ○ 集団における人間関係のあり方や自己表現の方法を学び、自己理解と他者理解を深める						<b>【評価方法】</b>  筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	人間関係の中の自己と他者		講義		
2	90	人間関係の中の自己と他者		講義		
3	90	対人関係と役割		講義		
4	90	対人関係と役割		講義		
5	90	態度と対人行動 (実習 集団思考)		講義		
6	90	集団と個人 (実習 ブレインストーミングとKJ法)		講義		
7	90	態度と対人行動 (認知的不協和, 説得的コミュニケーション)		講義		
8	90	集団と個人 (集団の心理) 試験		講義・試験		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
<b>【テキスト・参考書・使用教材】</b> 適宜資料を配布する						

分野	基礎分野	授業科目名	人間関係論Ⅱ	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	後期	1	15	(実務経験なし)
<b>【学習目標】</b> ○ 人間関係の基礎理論を学び、対人関係の具体的方法として、接近法、話し方、傾聴などの技法を身につける ○ 集団における人間関係のあり方や自己表現の方法を学び、自己理解と他者理解を深める						<b>【評価方法】</b>  筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	人間関係の技法① ～コミュニケーション～		講義		
2	90	人間関係の技法② ～ノンバーバルコミュニケーション～		講義		
3	90	カウンセリングと心理療法①		講義		
4	90	カウンセリングと心理療法②		講義		
5	90	コーチング		講義		
6	90	アサーティブネス・ コミュニケーション		講義		
7	90	アサーティブネス・ コミュニケーション (演習)		演習		
8	90	コミュニケーション (まとめ) 試験		講義・試験		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
<b>【テキスト・参考書・使用教材】</b> 適宜資料を配布する						

分野	基礎分野	授業科目名	倫理学	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験なし)
<b>【学習目標】</b> ○ 倫理学は、人間や社会組織の行為の善し悪しや正当性を評価する学問である。この授業では、特に医療倫理あるいは生命倫理と呼ばれる分野に焦点を絞って学習し、日常生活や医療の場で、命（いのち）をどのように扱うのが適切かを考える						<b>【評価方法】</b>  筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	倫理学とは何か 職業倫理、医療倫理、生命倫理		講義 映像資料の理解		
2	90	新しい生命倫理への対応 患者の自律の尊重		講義 映像資料の理解		
3	90	生命の質と神秘性 第2章 生殖医療の倫理		講義 映像資料の理解		
4	90	2-1 生殖補助技術 何が倫理的に問題か		講義 映像資料の理解		
5	90	2-2 出生前診断 2-3 人工妊娠中絶		講義 映像資料の理解		
6	90	障害病気治療の倫理 3-1 障害新生児 3-2 不同意治療		講義 映像資料の理解		
7	90	3-3 治療の必要性 症例シート		講義 映像資料の理解		
8	90	第4章 先端医療の倫理 4-1 人体の資源化		講義 映像資料の理解		
9	90	4-2 予知医学 遺伝医学の光と陰		講義 映像資料の理解		
10	90	4-3 性の多様性		講義 映像資料の理解		
11	90	第5章 終末期医療の倫理 5-1 告知 5-2 延命の是非		講義 映像資料の理解		
12	90	5-3 安楽死		講義 映像資料の理解		
13	90	5-4 死の自己決定 リビングウィル 人生会議		講義 映像資料の理解		
14	90	5-5 終の住処 第6章 医療と社会		講義 映像資料の理解		
15	90	優先思想と政策 テスト		講義 映像資料の理解		
16						
<b>【テキスト・参考書・使用教材】</b> 適宜資料を配布する						

分野	基礎分野	授業科目名	教育学	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期～後期	1	30	(実務経験なし)
<b>【学習目標】</b> ○ 人間の成長発達にとって教育がもつ重要性を理解する ○ 教育の意義と目的を理解し、教育方法及び評価方法を理解する ○ 主体的に学習する必要性が理解できる						<b>【評価方法】</b>  筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	教育の意義		講義		
2	90	発達過程と教育（1）乳幼児期		講義		
3	90	発達過程と教育（2）児童・青年		講義		
4	90	学校教育について（1）		講義		
5	90	学校教育（2）学習指導要綱		講義		
6	90	学校教育（3）生徒指導・教育相談		講義		
7	90	生徒指導・教育相談 いじめ問題		講義		
8	90	特別支援教育について		講義		
9	90	健康教育① 食育		講義		
10	90	健康教育② 運動・睡眠		講義		
11	90	ESD 21世紀型スキルについて		講義		
12	90	ESD 生物多様性について		講義		
13	90	人権と人権教育		講義		
14	90	国際理解と博愛		講義		
15	90	社会教育・生涯学習・テスト		講義		
16						
<b>【テキスト・参考書・使用教材】</b> 適宜資料を配布する						

分野	基礎分野	授業科目名	カウンセリング論	単位	時間	担当講師
対象学年	2年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験なし)
<b>【学習目標】</b> ○ カウンセリングの基本は、「受容」と「共感」とであるとされている。そのためには、「相手の話しに耳を傾ける」、すなわち「傾聴する」ことが必要である。そこで、実習を通して受容と共感、および傾聴することを学習する						<b>【評価方法】</b>  筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	カウンセリングの意味		講義		
2	90	コミュニケーションについて		講義		
3	90	コミュニケーションのあり方		講義		
4	90	カウンセリングの理論（精神分析）		実習		
5	90	認知行動論について		討議		
6	90	交流分析について		実習		
7	90	来談者中心療法について		討議		
8	90	マイクロカウンセリング		実習		
9	90	アドラ心理学について		討議		
10	90	ロール・レタリングについて		実習		
11	90	コーチング・スキルについて		討議		
12	90	聴くこと話すこと アサーション		実習		
13	90	マインドフルネスについて		討議		
14	90	言語的コミュニケーション		実習		
15	90	カウンセリング論のまとめ・テスト		討議・テスト		
16						
<b>【テキスト・参考書・使用教材】</b> 適宜資料を配布する						

分野	基礎分野	授業科目名	英会話	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	前期	1	30	(実務経験なし)
<b>【学習目標】</b> ○ 看護領域での英語資料を読解できるように、英語の語彙・文法を含めた基礎的英語力を身につける ○ 看護・医療分野の話題について書かれたインターネットやe-mailなどの英文資料を早く正確に読解する英語力を身につける					<b>【評価方法】</b> 期末試験(70%)、授業中の積極的発表活動(20%)、英語対話テスト(10%)を総合的に評価する	
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	教科書Lesson1の対話文 リスニングと発話・対話練習		講義・演習		
2	90	Lesson1 対話文・後半の発話練習 Lesson2 ダイアログのリスニング		講義・演習		
3	90	Lesson2 対話文の発話練習 重要語句の整理		講義・演習		
4	90	Lesson3 対話文のリスニング 前半部分の発話練習		講義・演習		
5	90	Lesson3 対話文後半のリスニング 発話練習、重要語句の整理		講義・演習		
6	90	Lesson4 対話文のリスニング 発話練習		講義・演習		
7	90	Lesson 4 対話文後半の発話練習 重要語句の整理		講義・演習		
8	90	Lesson5 対話文のリスニング 発話練習、重要語句の整理		講義・演習		
9	90	Lesson6 対話文のリスニング 発話練習		講義・演習		
10	90	Lesson6 対話文後半の発話練習 Lesson7 リスニング		講義・演習		
11	90	Lesson7 対話文の発話練習 重要語句の整理		講義・演習		
12	90	Lesson7 ライティングの確認 Lesson8 対話文のリスニング、 実技テスト①		講義・演習		
13	90	Lesson8 重要語句の整理 Lesson9 対話文(前半)の発話練習		講義・演習		
14	90	Lesson9 対話文(後半)の発話練習 重要語句の整理 実技テスト②		講義・演習 テスト		
15	90	終講テスト 実技テスト③		テスト		
16						
<b>【テキスト・参考書・使用教材】</b> How Are You Feeling Today? やさしい看護英語 -English for Nurses- 助川尚子 他 著,成美堂.						

分野	基礎分野	授業科目名	英語講読	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	後期	1	30	(実務経験なし)
<b>【学習目標】</b> ○ 看護領域での英語資料を読解できるように、英語の語彙・文法を含めた基礎的英語力を身につける ○ 看護・医療分野の話題について書かれたインターネットやe-mailなどの英文資料を早く正確に読解する英語力を身につける						<b>【評価方法】</b>  筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	Chapter1 A Cultural Difference 語彙の確認及び英文[1]～[3]の講読演習		講義・演習		
2	90	Chapter1 英文[4]～[5]の講読演習及び 章末問題の解答・解説		講義・演習		
3	90	Chapter2 英文[1], [2]の講読演習及び重要語句の整理		講義・演習		
4	90	Chapter2 英文[3]～[5]の講読演習及び重要語句の整理		講義・演習		
5	90	Chapter2 章末演習問題の回答・解説 及びLesson2のreview		講義・演習		
6	90	Chapter3 重要語彙の整理 英文[1], [2]の講読演習		講義・演習		
7	90	Chapter3 英文[3], [4]の講読演習 語句の整理		講義・演習		
8	90	Chapter3 英文[5]の講読演習 及び章末問題の解答と解説		講義・演習		
9	90	Chapter4 重要語句の導入及び英文[1], [2]の講読演習		講義・演習		
10	90	Chapter4 英文[3], [4]の講読演習及び重要語句の整理		講義・演習		
11	90	Chapter4 英文[5], [6]の講読演習及び重要語句の整理		講義・演習		
12	90	Chapter4 英文[7]の講読演習及び章末問題の解答・解説		講義・演習	音読テスト(1)実施	
13	90	Chapter5 英文[1], [2]の講読演習及び重要語句の整理		講義・演習	音読テスト(2)実施	
14	90	Chapter5 英文[3], [4]の講読演習及び試験範囲の総復習		講義・演習	音読テスト(3)実施	
15	90	英語講読 テスト		演習・試験		
16						
<b>【テキスト・参考書・使用教材】</b> Reading Choice—Skills for Academic Success—山科美和子 他 編著, センゲージラーニング.						

分野	基礎分野	授業科目名	保健体育	単位	時間	担当講師
対象学年	1年生	開講時期	後期	1	30	(実務経験なし)
<b>【学習目標】</b> ○ 健康維持増進のための運動の意義、目的、方法を理解する ○ レクリエーションやリラクゼーション技法を身につける						<b>【評価方法】</b>  筆記試験 等
回数	時間(分)	学 習 内 容		方 法	備 考	
1	90	ガイダンス ストレッチ		実技	島原市霊丘公園体育館使用	
2	90	ラジオ体操, ストレッチ, クールダウン		実技		
3	90	ストレッチ, ラジオ体操, 空間把握1		実技		
4	90	空間把握2、チーム決め, ストレッチ, クールダウン		実技		
5	90	リラクゼーション, チーム決め 企画立案		実技		
6	90	準備運動, ギャロップ⇒スキップ 大縄跳び, リラクゼーション		実技		
7	90	授業説明, 企画相談, 準備運動 バスケットボール, バドミントン		実技		
8	90	企画相談, 準備運動, バスケットボール, バドミントン, ストレッチ		実技		
9	90	授業説明, リラクゼーション, 準備運動, ボールゲーム		実技		
10	90	授業説明め準備, フィットネス, バレーボール, ストレッチング		実技		
11	90	準備運動, ディスク練習, ディスクゲーム, クールダウン		実技		
12	90	企画計画, ディスクゲーム, リラクゼーション		実技		
13	90	企画計画, ディスク練習, ドッジビー, 企画準備		実技		
14	90	企画計画(ズンバ, バレーボール) ドッジビー, 企画準備		実技		
15	90	準備運動, 企画説明, 企画(バスケット ボール, バドミントン) リラクゼーション		実技		
16						
<b>【テキスト・参考書・使用教材】</b> 適宜資料を配布する						